

科目名 「 臨床実習Ⅰ（ポリクリ） 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	オーガナイザー 副校長

単位数	3
学修目標 (GIO)	臨床実習では、付属病院において歯科衛生士業務の実際を学び、歯科衛生士として必要な知識、技能及び態度を修得すること、臨地実習では、地域歯科保健活動等の場において歯科衛生士としての役割を理解し、実践できることを目的としている。各講義・実習を通じて後期からの臨床実習と臨地実習を行うための知識・技能・態度を修得する。
担当教員	副校長：*多田 充裕 教務主任：*石橋 肇 専任教員：*中澤 広美, *門脇 明美, *岡元 明菜, *鷹巣 美香, *和田 由紀子 *小方 頼政, *清水 武彦, *西村 均, *内山 敏一, *松野 昌展, *各科臨床実習指導医・指導者 病院管理課長
教科書	各内容に応じて教科書を指定する。
参考図書	必要に応じて、参考図書あるいは参考文献を指定する。
評価方法 (EV)	平常試験(80%)を行う。そのほかの実習に関しては実習課題・実習態度等(20%)により総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	後期から始まる臨床実習に向けての実習である。各診療科の指導者による実習があるので、付属病院への登院をイメージし自ら学ぶ姿勢で取り組み、後期に役立てること。原則として欠席した学生への補講は行わない為、医療人として体調管理を行い欠席しないよう心掛けること。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/9(金)	総合ガイダンス グループディス カッション	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 臨床実習・臨地実習に対する心構えについて考え、理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・臨床実習、臨地実習の必要性を考える。 ・グループディスカッションで積極的に実習の必要性を理解した発言ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：15分、シラバスを読み、授業内容を把握しておくこと。 復習時間：15分、臨床実習に向けて必要となるべきことについて自身 自身の考えをまとめておくこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 グループ討議 【学修方略 (LS)】 グループ討議	*多 田 *和 田
	キュレットスケー ラーのシャープニ ング	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 シャープニングを行うのに必要な知識、技術を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・シャープニングについて説明できる。 ・キュレットスケーラーのシャープニングができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、予防処置論で行った鎌形・グレーシーキュレットの シャープニングを復習して実習に臨むこと。 復習時間：30分、実習を振り返り次回に活かすこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習	*和 田 *門 脇 *中 澤

第2回 4/16(金)	高齢者疑似体験実習 プレート装着実習 (義歯体験)	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者の身体的および精神的変化を理解するために疑似体験を行い、高齢者について理解を深める。 【行動目標 (SB0s)】 ・高齢者の身体的変化を感じられる。 ・高齢者の身体的変化に伴う心理を推察できる。 ・歯科診療補助論で作成したプレートを装着し、装着時の違和感、不自由さを体験し義歯装着者の心理を理解できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：15分、1学年 歯科診療補助論で作成したプレートの準備および試適をしておく。高齢者の身体的特徴について調べておくこと。 復習時間：30分、実習課題で実習の振り返りを行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習 *歯科診療補助論Ⅱで作成したプレート使用。	*和 田 *門 脇 *中 澤
	口腔内清掃法① (電動歯ブラシ)	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 良好な口腔内環境を維持するために、患者診療で必要不可欠な知識、技能を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 電動歯ブラシの種類、使用方法について説明できる。 オーラルケア製品の種類、使用方法について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、電動歯ブラシの種類、使用方法についての復習。 復習時間：30分、実習課題で実習の振り返りを行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習 (株式会社モリタ)	*和 田 *中 澤
第4回 4/23(金)	PMTC講義 PMTC実習 口腔内清掃法② (電動歯ブラシ)	臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 良好な口腔内環境を維持するために、またこれからの患者診療で必要不可欠な電動歯ブラシの知識、技術および態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・PMTCの目的、術式を説明できる。 ・PMTCに使用する器具を理解し、操作できる。 ・電動歯ブラシの種類、使用方法について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、PMTCの目的について、電動歯ブラシの種類、使用方法についての復習してくること 復習時間：30分、実習課題で実習の振り返りを行うこと 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習 (株式会社ジーシー)	*和 田
第3回 4/30(金)	マネキン実習 【全顎】	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 1学年で修得したマネキン実習の総まとめとし、マネキン操作の技能向上を図る。 【行動目標 (SB0s)】 ・マネキンを使っての手用スクレーラーの操作が適切かつ円滑にできる。 ・マネキンを使っての歯面研磨が適切かつ円滑に行える。 【準備学修項目】 予習時間：30分、手用スクレーラーおよび歯面研磨の操作方法についての復習。 復習時間：30分、手用スクレーラーおよび歯面研磨の操作方法についての復習。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習	*和 田 *門 脇 *中 澤
	歯冠形態作成実習	【授業の一般目標】 歯の形態的特徴について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・大白歯の形態的特徴を説明できる。 ・大白歯の形態をスケッチおよび彫刻にて表現することができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、詳細は別途指示。 復習時間：30分、実習内容の復習。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習 *石膏棒使用。	*松 野

第5回 5/7(金)	相互実習①【全顎】 探針操作 スケーラー操作 歯面研磨 洗浄・貼薬	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 今までブロック毎に学んだ技能を活かし全顎を安全かつ適切に操作することで、確実に円滑な操作方法および患者対応を体得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・各術式が安全かつ円滑に操作できる。 ・患者に配慮した対応ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、術式の確認およびタイムテーブルを考えておくこと。 復習時間：30分、苦手部位の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習	*和田 脇 *中 澤
	予防管理室における 学生実習について I ①	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 予防管理室で使用している患者診療に関する書類の記載方法について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 予防管理室で使用している書類がどのようなものかを知る。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、歯科保健指導論Ⅲ業務記録についての復習。 復習時間：60分、相互実習②終了後に業務記録の下書きを提出のこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習	*岡 元
第6回 5/14(金)	診療補助実習 歯周科 (歯周精密検査・ Gスケーラー操作・ 歯周外科処置の器 材について)	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯周治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・歯周精密検査を的確かつ迅速に行える。 ・Gスケーラーの操作方法を理解し、安全かつ適切に操作できる。 ・歯周外科処置に必要な器材の名称と用途、術式を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、歯周精密検査・Gスケーラー操作方法の復習。 復習時間：30分、実習課題に実習でのアドバイスをまとめ、復習のこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習	*小方 *高井 (英) *和田
	予防管理室における 学生実習について I ②	臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 予防管理室の患者診療および診療システムについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・患者診療に関する書類の記載する。 ・予防管理室での診療システムを説明する。 【準備学修項目・時間】 予習時間：特になし。 復習時間：予防管理室の患者診療システムについての復習 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習	*和田 *中 澤

<p>第7回 5/21(金)</p>	<p>相互実習②【全顎】 歯周精密検査 探針操作 スケーラー操作 歯面研磨</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 今までブロック毎に学んだ技能を活かし全顎を安全かつ適切に操作することで、確実に円滑な操作方法および患者対応を体得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・各術式が安全かつ円滑に操作できる。 ・患者に配慮した対応ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、術式の確認およびタイムテーブルを考慮しておくこと 復習時間：30分、苦手部位の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】有 実習 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*和 田 *門 脇 *中 澤 *岡 元</p>
<p>第8回 5/28(金)</p>	<p>口腔内写真撮影について</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔内写真についての知識および撮影技術、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・口腔内写真撮影の目的について説明できる。 ・口腔内写真をスムーズに撮影できる。 ・患者の不快に配慮できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、口腔内写真についての予習。(歯科予防処置論の教科書参照) 復習時間：30分、実習課題で実習の振り返りを行うこと。 【アクティブラーニングの有無】有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*和 田 *門 脇 *中 澤</p>
	<p>診療補助実習 矯正歯科 (バンディング・DBS・結紮・印象採得・口腔内写真撮影)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科矯正治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・診療時に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・診療補助時に必要な手順を説明できる。 ・口腔内および顔面写真の撮影手順を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、実習に必要な術式についての予習・復習(歯科診療補助論Ⅲ第2回の内容) 復習時間：30分、実習課題で実習の振り返りを行うこと。 【アクティブラーニングの有無】有 実習 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*榎 本 *石 井 *清 水 *鹿 野 *落 合 *櫻 井 *和 田 *中 澤</p>
<p>第9回 6/4(金)</p>	<p>予防管理室における学生実習についてⅡ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 予防管理室で使用している患者診療に関する書類の記載方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 患者診療に関する書類に記載できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、前回の相互実習で業務記録を作成し、下書きのチェックまで終わらせておくこと。 復習時間：30分、業務記録の書き方・注意点についての復習。 【アクティブラーニングの有無】有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*和 田 *門 脇 *中 澤</p>
	<p>予防管理室における学生実習についてⅢ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 予防管理室の患者診療および診療システムについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・患者診療に関する書類の記載が完了できる。 ・予防管理室での診療システムを説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：特になし。 復習時間：予防管理室の患者診療システムについての復習。 【アクティブラーニングの有無】有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*和 田</p>

	注射法実習	<p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。 【授業の一般目標】 安全な歯科治療を提供するために注射法を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ・ 注射法の種類を列挙する。 ・ 注射法の種類による効果発現時間の違いを説明する。 ・ 静脈注射の手順を説明する。 ・ 点滴セットの組み立てを説明する。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、注射法の種類による効果発現時間の違いについて。 復習時間：30分、薬物の投与経路とそれぞれの効果発現時間を確認する。 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	*石 橋
第10回 6/11(金)	診療補助実習 歯内療法 (根管治療・充填)	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯内療法治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・ 根管治療および根管充填に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・ 診療補助時に必要な手順を理解し、説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、実習に必要な術式についての予習。 復習時間：30分、実習に必要な術式についての復習。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習 *歯根管模型使用。</p>	*吉 田 *和 田
	診療補助実習 小児歯科 (生活歯髄切断法)	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 小児歯科における歯科衛生士業務を行えるようになるために、生活歯髄切断法に関する知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・ 生活歯髄切断法に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・ 診療補助時に必要な手順を理解し、説明できる。 ・ 生活歯髄切断法の診療補助ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、小児歯科学講義を参考に実習に必要な術式についての予習。 復習時間：30分 実習に必要な術式についての復習。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	*清水(武) *小 川 *和 田 *中 澤
第11回 6/18(金)	診療補助実習 保存修復 (レジン充填、連 合印象採得)	<p>【授業の一般目標】 保存修復治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・ 診療時に必要な器材の名称と用途を説明できる。 ・ 診療補助時に必要な手順を説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、実習に必要な術式についての予習。 復習時間：30分、実習に必要な術式についての復習。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習 *エポキシ模型 2級窩洞#46使用。</p>	*内 山 *和 田
	診療補助実習 口腔外科 (血圧測定・滅菌 グローブの装着・ メスの着脱・注射 筒の取扱い・縫合 糸取り付け)	<p>【授業の一般目標】 口腔外科治療の診療補助のための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・ 血圧測定が適切かつ正確にできる。 ・ 滅菌グローブを正しい方法で装着できる。 ・ メスの着脱方法を理解し、安全に行える。 ・ 注射筒に局所麻酔と注射針を正しく安全に装着できる。 ・ 縫合糸の取り付けが迅速かつ安全にできる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、臨床実習 I (ポリクリ) 講義を参考に、実習に必要な器具の取り扱いについての予習。 復習時間：30分、実習に必要な器具の取り扱いについての復習。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	*飯 塚 *和 田 *中 澤

	平常試験		
第12回 6/25(金)	臨地実習説明 ・幼稚園 ・保健福祉センター ・高齢者施設 ・障がい者施設	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 臨地実習の概要を理解し、地域保健活動についての知識を深める。 【行動目標 (SB0s)】 各実習施設での実習内容について把握できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、地域保健活動について復習のこと。 復習時間：30分、臨地実習をイメージして復習のこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義	*和田
	患者診療の実際	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 予防管理室における、電子カルテシステムに基づいた業務記録の入力方法を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 電子カルテの入力方法を概説できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、歯科衛生士業務記録の記載内容の復習。 復習時間：30分、マニュアルを参考に実際に業務記録を作成することをイメージして復習すること。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 講義・実習	*内山 *岡元
第13回 7/2(金)	登院前ガイダンス I - ①	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 臨床実習前に各科診療室・部署について理解を深め、臨床実習に必要な知識・技術および態度を知る。 【行動目標 (SB0s)】 ・登院に必要な事柄を説明できる。 ・病院見学実習の目標を立てることができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、臨床実習に対する心構えをしておくこと。 復習時間：30分、各自、臨床実習で自分に何が必要か考えておくこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義	★各科 指導医 指導者
第14回 7/9(金)	登院前ガイダンス I - ② 平常試験の解説講義		
第15回 7/16(金)	登院前ガイダンス I - ③ 病院見学		

【臨床体験実習】

<p>7/27 (火) 28 (水) 30 (金)</p>	<p>臨床体験実習</p>	<p>【授業の一般目標】 3年生が附属病院で実習する姿を見学し、後期からの実習をイメージするとともに大学病院での歯科衛生士の役割について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・診療室での歯科衛生士の役割を述べる。 ・診療室のルールを列挙できる。 ・各診療室での診療に関するシステムについて述べる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：各日90分、登院前ガイダンス I の復習。 ・見学科に必要な事前学修。 ・体調管理をしっかりと行うこと。 復習時間：各日90分、実習課題で各自実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 有 実習 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*多 田 *和 田</p>
---------------------------------------	---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------

病院見学実習】

<p>9/17 (金)</p>	<p>病院見学実習について</p>	<p>【授業の一般目標】 病院見学実習に向けての心構え、注意事項について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 病院見学実習での目標を列挙できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、臨床実習に対する心構えをしておくこと。 復習時間：60分、病院見学実習の注意事項について復習のこと。 登院前ガイダンス I の復習。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*多 田 *和 田</p>
<p>9/21 (火) 22 (水) 24 (金) 27 (月) 28 (火)</p>	<p>病院見学実習</p>	<p>【授業の一般目標】 後期から登院する診療科に行き、大学病院での歯科衛生士・看護師の役割について理解する。また各診療室での診療に関するシステムについて理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・診療室での歯科衛生士・看護師の役割を述べる。 ・診療室のルールを列挙できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：各日90分、登院前ガイダンス I の復習。 ・見学科に必要な事前学修。 ・体調管理をしっかりと行うこと。 復習時間：各日90分、実習課題で各自実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*各科 指導医 指導者</p>
<p>9/29 (水)</p>	<p>登院前ガイダンス II ・付属病院の概要 ・医療安全管理 ・臨床実習について</p>	<p>【授業の一般目標】 臨床実習先である大学病院の歯科医療における歯科衛生士の役割について理解し、登院に際しての心構えをする。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・登院に際しての心構えについて考える。 ・臨床実習先である付属病院の概要について述べるができる。 ・医療安全管理、感染予防策について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：特になし。 復習時間：30分、ガイダンス内容についての復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>病院管理課 課長 *山 口 *和 田</p>
	<p>戴帽式リハーサル</p>		<p>*専任教員</p>